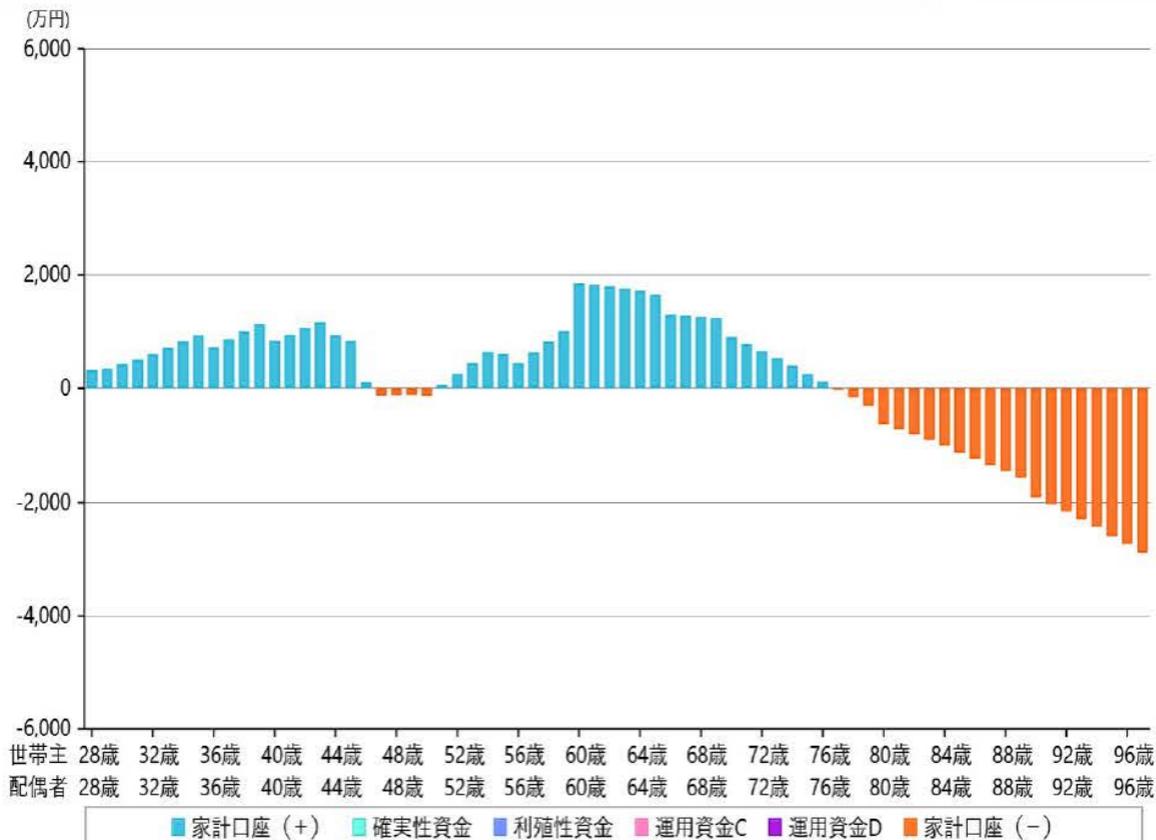


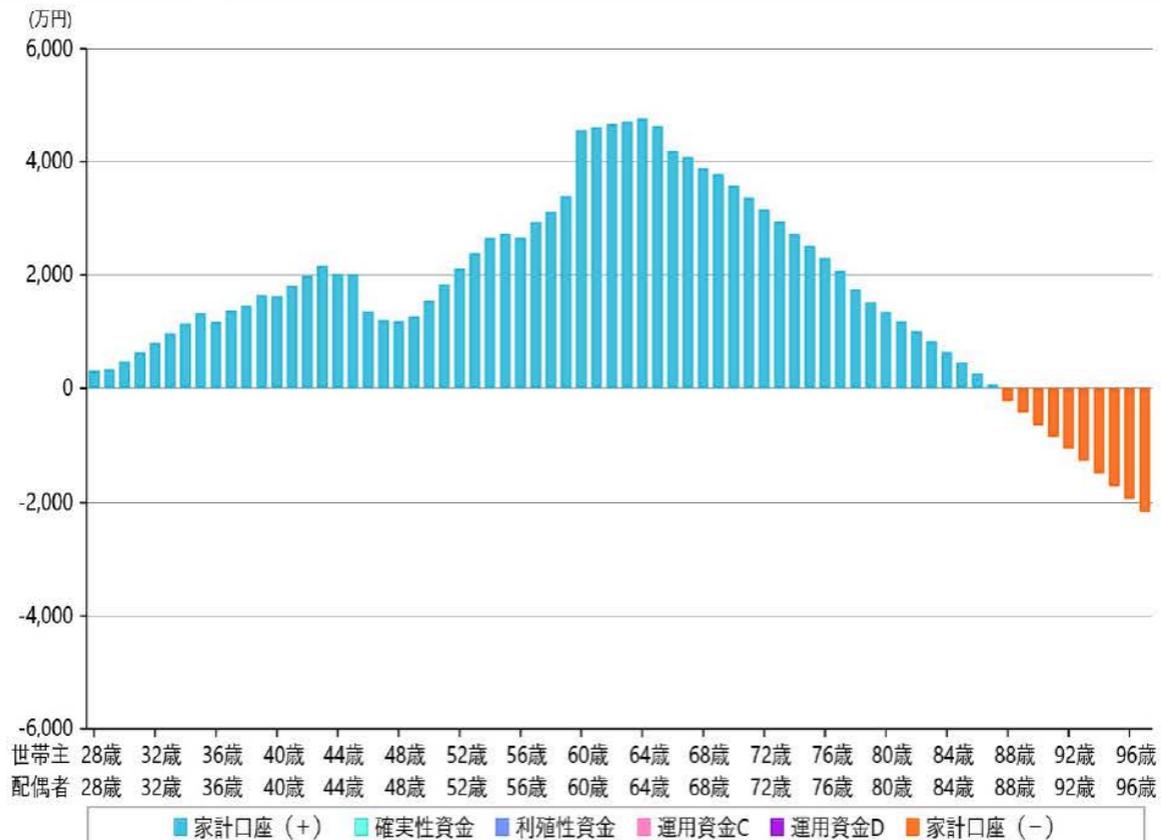
メインプラン：住宅購入した場合

メインプラン：4.貯蓄残高推移



比較プラン：賃貸の場合

比較プラン：4.貯蓄残高推移



メインプラン：住宅購入した場合

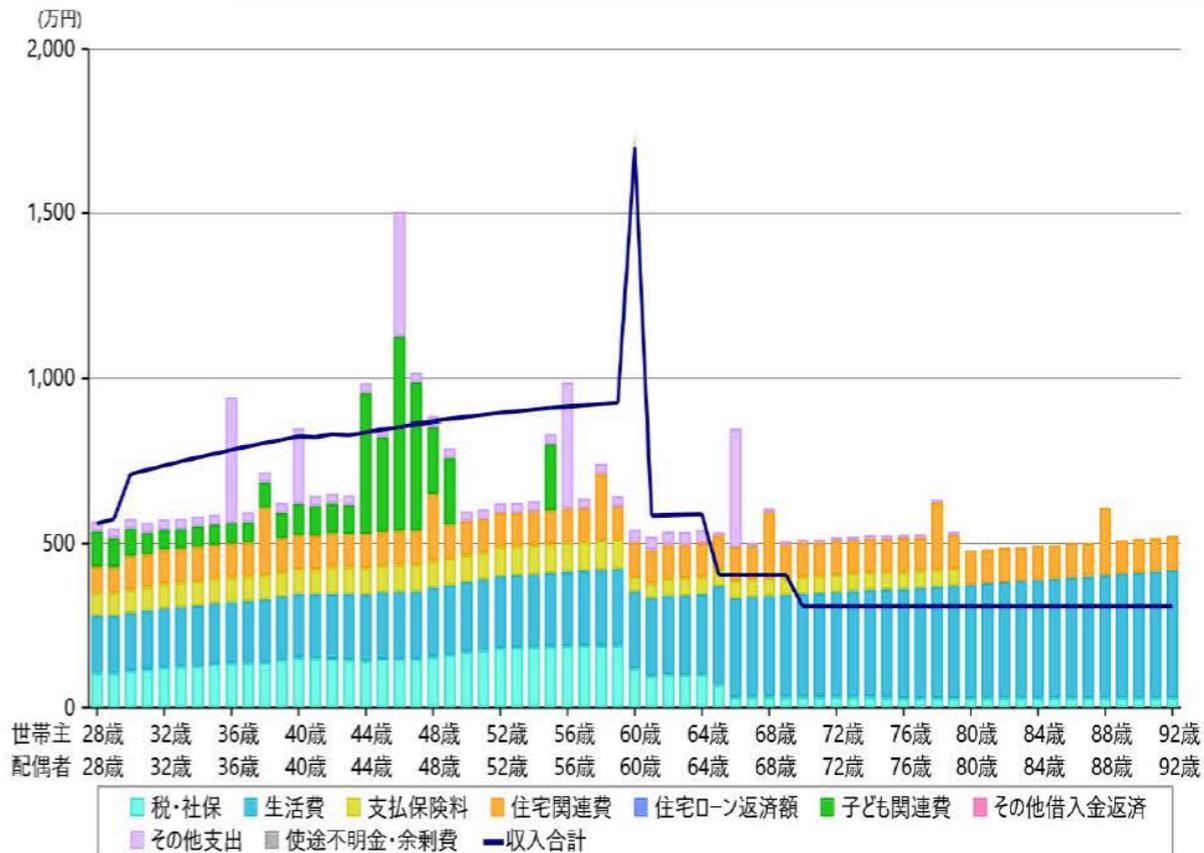
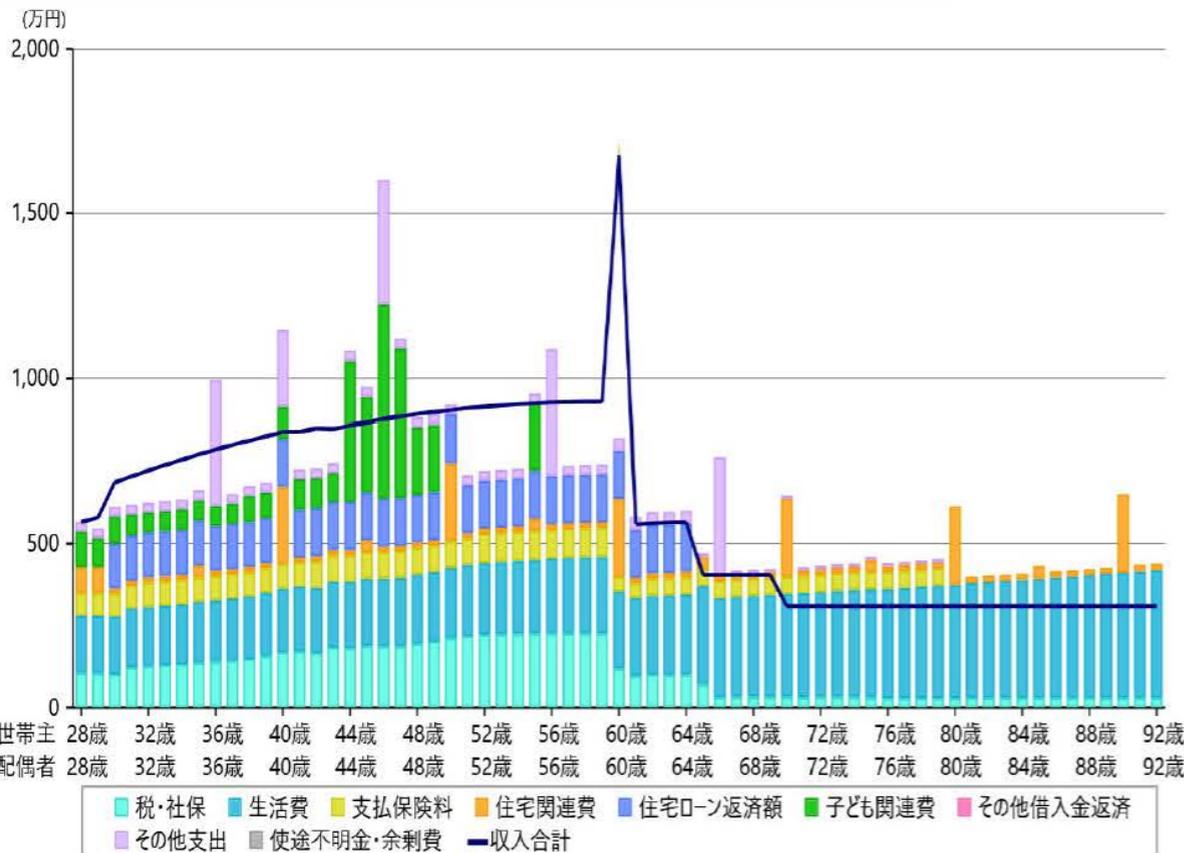
比較プラン：賃貸の場合

メインプラン：2.支出推移

表示期間: 65年

同期

比較プラン：2.支出推移



〇〇様のライフプラン診断結果

今回はずっと賃貸で暮らされた場合と住宅購入をされた場合のお金の動き方を比較して頂くために、2つの人生を歩んだ場合のグラフを作成させていただきました。

【賃貸の場合】

お子さんが小さい時は預貯金が順調に増加していきますが、大学入学後は収入より支出が多いため預貯金も減少していきます。これは、多くのご家庭に共通することですので心配はありません。

減少しても〇〇様のご家庭は、預貯金はしっかりあるので安心ですね。

退職してから年金生活になった場合、家賃を払い続ける必要がありますので、88歳以降の預貯金がマイナスになってしまいます。マイナスになるということは破産していることとなりますので、唯一の課題は老後です。

【住宅購入した場合：予算4,000万円】

住宅ローンの返済が始まるとご主人の家賃補助がなくなってしまいます。

現在年間で〇〇万円の家賃補助がありますので、その分が新たに家計から支出されることになります。

現在の家賃に比べると住宅ローンの返済額が上回るようになりますので、お子様の大学時期の預貯金額が賃貸の場合のグラフと比べると大きく変わり、マイナスになってしまいます。

住宅ローンのメリットは家賃に比べると前半の支払は大きいですが、完済することで老後の預貯金の減少スピードは緩やかになります。

ただし、住宅は人生最大の買い物になりますので、全体的に預貯金が出来にくくなり、老後は77歳以降で預貯金がマイナスになります。

【総評価】

住宅を購入されることでお子様の教育資金のピーク時に預貯金が枯渇してしまい、老後破綻になりかねない状況です。

家賃補助がなくなることで住宅ローンの返済が重く感じられる可能性がありますので、支出を考えていきましょう。

その上でまずは教育資金のピーク時に預貯金が枯渇しない体制を整えていきましょう。

また賃貸でも住宅購入でも老後の資金不足は発生しています。

今からできることを一緒に考えていきましょう。

住宅購入した場合

今後のキャッシュフロー表(1)

今後80年間の収支および金融試算残高の推移予想は以下のとおりです。

(金額の単位：万円)

西 暦		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042
年 齢	世帯主	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	配偶者	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	ちびくん様	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	ちびちゃん様	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
収 入	世帯主収入	537	550	534	547	560	572	584	596	607	618	628	639	649	658	667	676	685	693	701	708
	配偶者収入			130	135	140	144	149	153	156	159	163	165	168	170	172	173	175	176	176	177
	世帯主年金																				
	配偶者年金																				
	その他収入	30	30	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	12	12					
	収入計	567	580	688	706	723	740	756	772	787	801	815	828	840	840	851	850	859	869	877	885
支 出	生活費	174	176	177	179	181	183	184	186	188	190	192	193	195	197	199	201	203	205	207	209
	住宅費	78	78	15	15	15	15	15	36	16	16	16	16	236	16	16	16	16	36	16	16
	住宅ローン返済			138	138	138	138	138	138	138	138	138	138	146	146	146	146	146	146	146	146
	支払保険料	70	70	70	70	76	76	76	76	76	76	76	76	76	76	82	82	82	82	82	82
	子ども関連費	108	90	84	66	61	61	63	63	63	63	79	79	95	92	92	89	425	290	585	450
	その他借入金返済																				
	税・社保	107	106	101	124	127	129	132	138	140	145	149	158	168	171	167	184	182	188	187	188
	その他支出	30	30	30	30	30	30	30	30	380	30	30	30	230	30	30	30	30	30	380	30
	使途不明金・余剰費																				
	支出計	567	550	616	622	628	632	638	666	1,000	656	678	690	1,147	728	732	748	1,085	977	1,604	1,121
	年間収支	-0	31	72	84	95	108	118	106	-213	145	137	138	-306	112	119	102	-225	-109	-727	-236
金融資産	[1]流動性資金	320	350	422	507	602	710	829	935	722	867	1,004	1,142	836	948	1,067	1,169	944	835	108	
	[2]確実性資金																				
	[3]利殖性資金																				
	[4]																				
	[5]																				
	金融資産残高合計	320	350	422	507	602	710	829	935	722	867	1,004	1,142	836	948	1,067	1,169	944	835	108	
	赤字分																				-128
	住宅ローン残高			3,906	3,811	3,714	3,617	3,518	3,419	3,318	3,216	3,114	3,010	2,911	2,811	2,709	2,605	2,500	2,393	2,284	2,174
	世帯主死亡保険金																				
	配偶者死亡保険金																				
	主なイベント	▼第一子保育園入園 ▼第二子保育園入園	▼第一子幼・保入園	▼住宅取得	▼第二子幼・保入園	▼第一子小学校入学			▼第二子小学校入学				▼第一子中学校入学		▼第二子中学校入学	▼第一子高校入学		▼第二子高校入学	▼第一子大学進学		▼第二子大学進学